



黒峰城



主郭を囲む土塁

所在地：石川県珠洲市宝立町春日野

立地：丘陵頂部、標高436m

城主：阿部判官義宗、由井浄定（上杉謙信家臣）

時期：南北朝、戦国

見学時間（参考）：約1時間30分

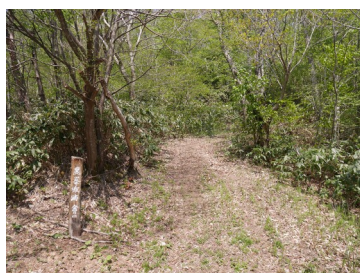
珠洲市最高峰の宝立山に占地する。宝立山は宝嶺山、宝立山（丸山）、黒峰山の三峰から成り、うち黒峰山の山頂部に築かれている。古来より内浦と内陸集落を結ぶ黒峰往還、法住寺道、柏原道、白米坂道、南山道が交差する交通の要衝で、すべての道が城域に接するように通り、人馬の往来を監視していた。



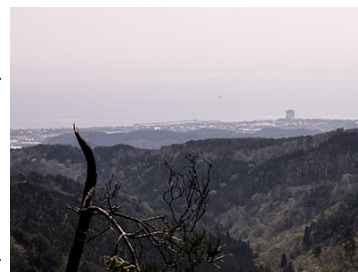
北の登城口（宝立山P側）

故墟考は宝立山周辺に拠点を持っていた豪族阿部判官義宗が城主と伝えている。阿部判官義宗の伝承は輪島市、旧柳田村、旧内浦町、珠洲市の各地に残っているが謎が多い。天正中頃には上杉謙信の部将由井浄定が置かれたが、織田方の前田利家に攻められて落城したと伝える。

主郭西側の斜面に七ツ塚と呼ばれる場所があり、本城落城時の死者を葬ったとか、金品・武具を埋納した塚などという伝承があり、度々盗掘されて現状を留めていない。ここは畝状空堀群という上杉氏城郭で多用された防御施設で、上杉氏が奥能登を制圧していた天正5～8年（1577～80）頃に構築された可能性が高い。主郭は土塁で囲まれ南北に虎口が設けられている。単純な平虎口だが防御を高めるために櫓台を併設する。城跡から法住寺がある東方の飯田湾周辺を望むことができ、天候条件が良い日は珠洲を代表する景勝地である見附島（軍艦島）が見える。



東の登城口（県道280号）



飯田湾周辺の遠望



黒峰往還



黒峰城の址碑（上戸知ろう会）

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>